

2017 年度大学院生対象 学修活動に関するアンケートの結果（報告）

IR センター教育情報分析室・FD 委員会

I. アンケートの概要

2017 年 1 月に大学院全学年を対象にユニバーサル・パスポートのアンケート機能を用いて実施した。調査項目は、回答者の属性(学年、専攻)、東北福祉大学の教育に対する満足度(学び、学生生活支援、キャリア支援・就職支援)、学修時間と学修行動、大学院生活における不安や悩み・意欲、所属専攻での学び・教育について（学位授与の方針<ディプロマ・ポリシー>の「学生が身に付けるべき資質・能力の目標」について）、本学の学び・教育に関する意見、に関する項目より構成されている。全体で 10 名の回答が得られ、学年別では修士 1 年 6 名、修士 2 年 4 名、博士はいずれの学年も 0 名であった。

(以下、修士課程の結果のみ示す)

II. 全体の傾向

1. 回答者の属性

回答者の専攻別の学年構成を表 1 に示す。

表1 回答者の専攻別の学年構成

		M1	M2	D1	D2	D3	学科
総合福祉学研究科 社会福祉学専攻	人数	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
福祉心理学専攻 福祉心理学分野	人数	0	2				2
	%	0.0%	2.0%				
福祉心理学専攻 臨床心理学分野	人数	6	0				6
	%	6.0%	0.0%				
教育学研究科	人数	0	2				2
	%	0.0%	2.0%				
学年	人数	6	4	0	0	0	10
	%	6.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

2. 大学院の教育に対する満足度

満足度に関する項目は「満足、やや満足、やや不満、不満」の 4 件法にて回答を求めたが、それに加えて項目により「取り組んでいない、利用していない」という選択肢を設けた。各項目での「取り組んでいない」「利用していない」という回答について集計を行った結果を表 2 に示した。なお、数値が入っていない項目はそのような回答をしたものがないということを示す。結果、「リエゾン・ポートフォリオの活用支援、キャリア支援、履修支援」について「利用していない」という回答が多いことが明らかとなった。

表2 大学での学びの満足項目において「取り組んでいない」と答えた人数と割合
大学院

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	所属する専攻における専門分野の学び	修士論文または博士論文の研究と作成に向けた指導	履修支援(履修ガイダンスなど)	リエゾン・ポートフォリオの活用支援	教室の設備	図書館、院生室などの学習支援施設	実習施設や研究施設	経済的支援に関する情報提供	心身の健康支援	キャリア支援・就職支援	学習や生活面での相談(修論指導の担当教員など)
M1	人数	---	2	4	---	---	0	2	0	2	1
	%	---	33.3%	66.7%	---	---	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%
M2	人数	---	3	4	---	---	1	2	1	4	0
	%	---	75.0%	100.0%	---	---	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%	0.0%
合計	人数	---	5	8	---	---	1	4	1	6	1
	%	---	50.0%	80.0%	---	---	10.0%	40.0%	10.0%	60.0%	10.0%

次いで、各項目での「取り組んでいない」「利用していない」と回答をした者を除外し集計した各項目の満足度を図1に示す。満足度の得点範囲は1～4であり、得点が高いほど満足していることを示す。

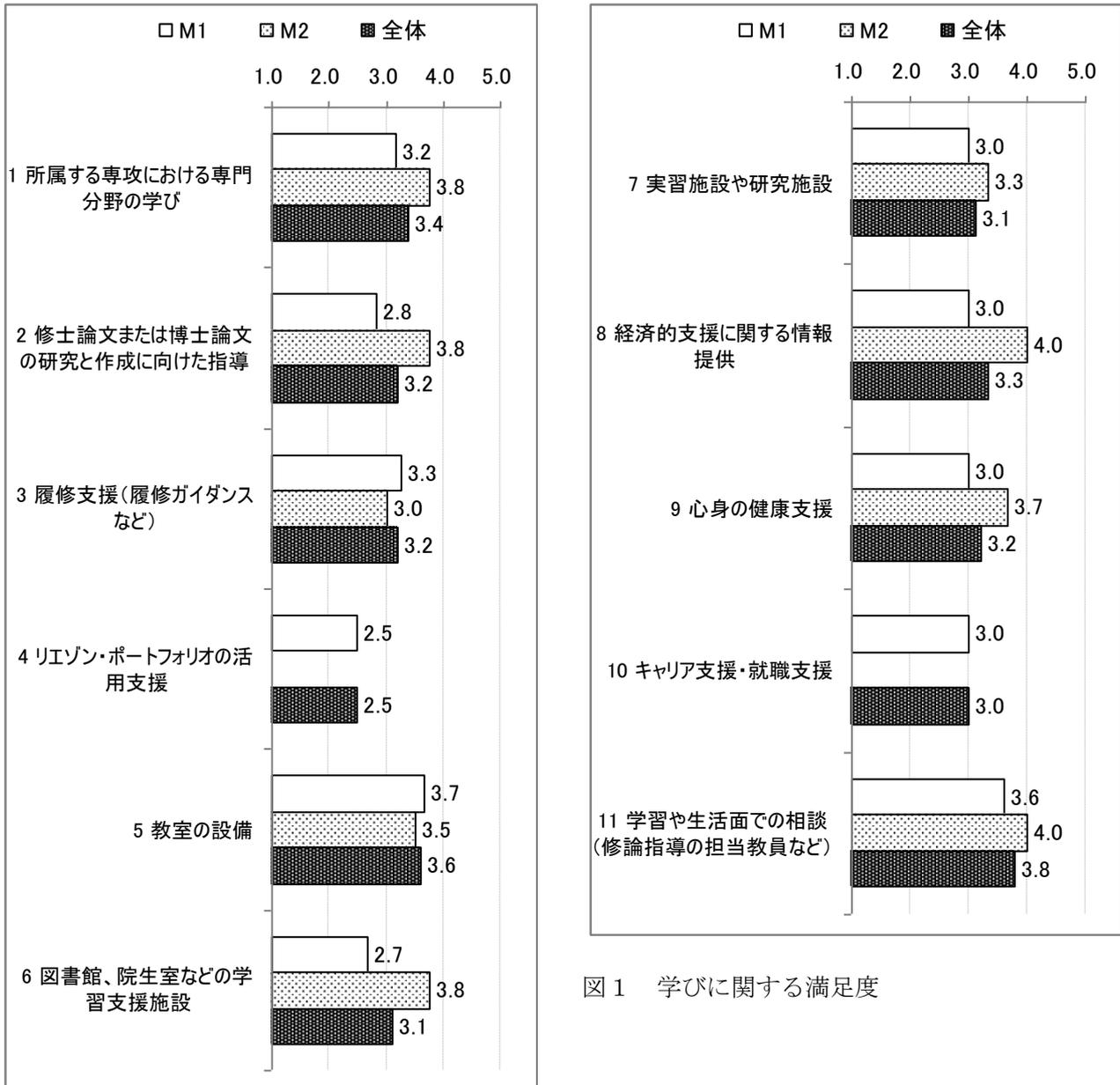


図1 学びに関する満足度

殆どの項目の満足度は評定値 3.0 を超える高さであった。M1 の「研究と論文作成の指導」や「学習支援施設」の評定値は 2.5 を下回り、不満足側に寄った評定であることが示された。リエゾンレポートの活用についても不満足側の評定であった。

3. 学修行動時間

1 週間当たりの諸活動にあてる時間について表 3-1～3-8 にまとめた。各項目において割合上位の 2 つの時間帯を太字にしている。結果、M1 では授業にかける時間が多く、M2 では論文執筆にかける時間が多いということが示された。また M2 は個人により行動の差があることが予想された。

表3-1 授業に出席する

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	0	0.0%	2	33.3%	0	0.0%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	6
M2	2	50.0%	2	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	2	20.0%	4	40.0%	0	0.0%	2	20.0%	1	10.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	10

表3-2 履修している授業の予習や復習、課題をする

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%									
M1	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	1	25.0%	1	25.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	1	10.0%	4	40.0%	1	10.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

表3-3 大学院の授業・予習・復習・課題以外の学習(読書など)をする

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	0	0.0%	3	50.0%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	1	25.0%	0	0.0%	3	75.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	1	10.0%	3	30.0%	5	50.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

表3-4 ボランティア活動をする

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	4	66.7%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	8	80.0%	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

表3-5 アルバイト・仕事をする

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	0	0.0%	1	16.7%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	16.7%	1	16.7%	6
M2	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	1	25.0%	1	25.0%	4
全体	1	10.0%	1	10.0%	2	20.0%	1	10.0%	1	10.0%	0	0.0%	2	20.0%	2	20.0%	10

表3-6 新聞やネット等で時事・社会・地域問題等の情報をチェックする

大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	3	50.0%	3	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	4	40.0%	5	50.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

表3-7 修士論文や博士論文に向けた準備や研究、執筆をする
大学院

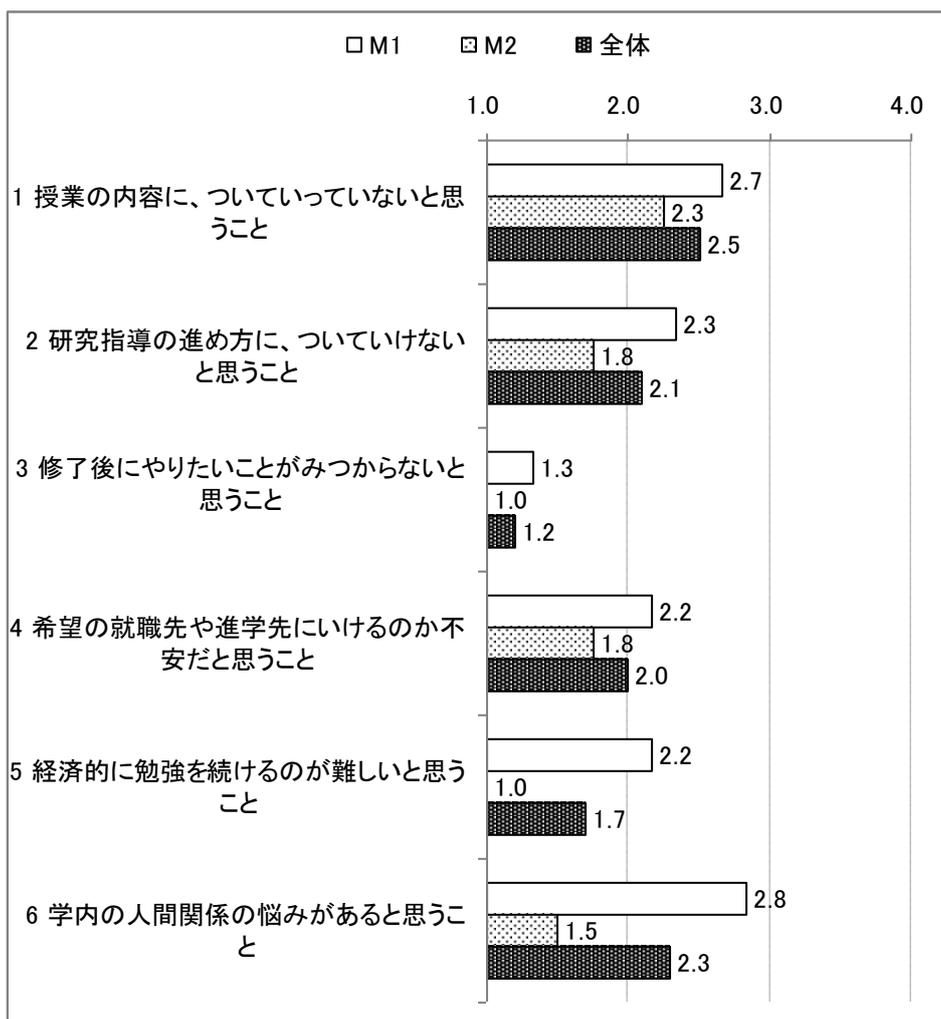
	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	2	33.3%	3	50.0%	1	16.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	0	0.0%	1	25.0%	2	50.0%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	2	20.0%	4	40.0%	3	30.0%	0	0.0%	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

表3-8 専門教育以外のキャリア形成活動や就職・進学活動をする
大学院

	1時間未満		1～5時間台		6～10時間台		11～15時間台		16～20時間台		21時～25時間台		26～30時間台		31時間以上		全体 度数
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
M1	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6
M2	4	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4
全体	10	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10

4. 大学院生活における不安や悩み・意欲

大学院生活についての不安や悩み・意欲に関する項目の集計経過を図2に示す。なお、回答は「(悩み・不安が)大いにあった」から「全くなかった」までの4件法(得点範囲は1～4)であり、得点が高いほど不安や悩みがあることを示す。結果、全ての項目で M2 の方が不安や悩みが低下することが示された。また評定値 2.5 を超えている項目として、M1 における「授業内容についていけないと思う」「学内の人間関係」が示された。意欲については総じて意欲的に取り組んでいたことが示された。



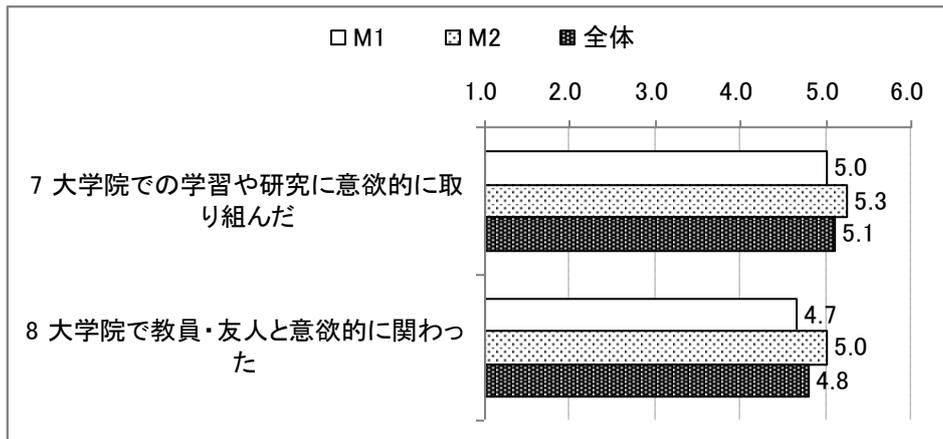
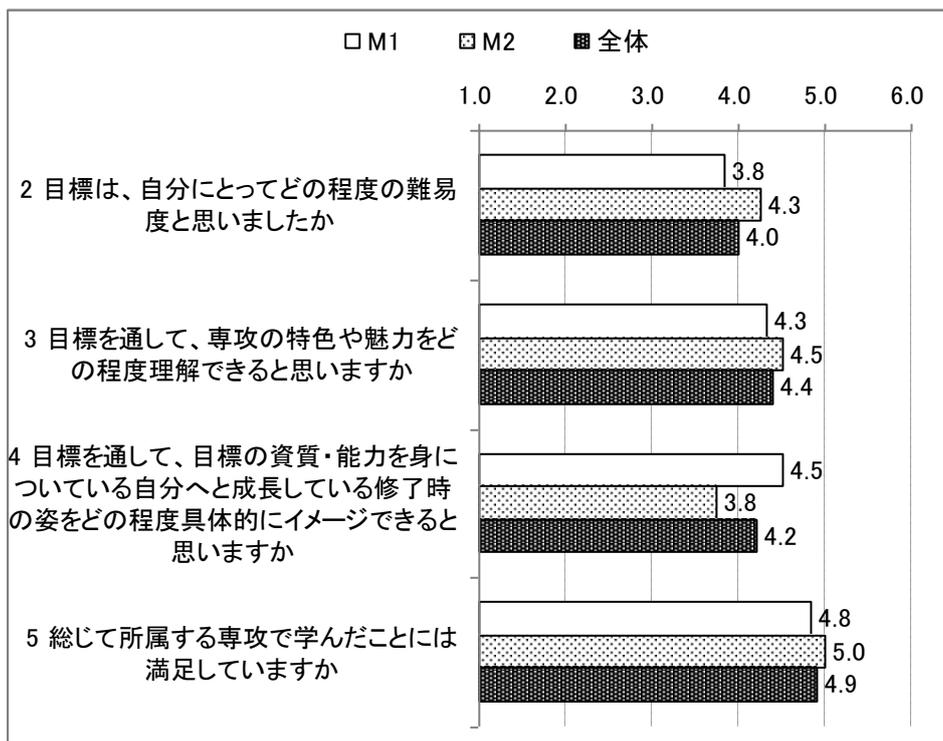
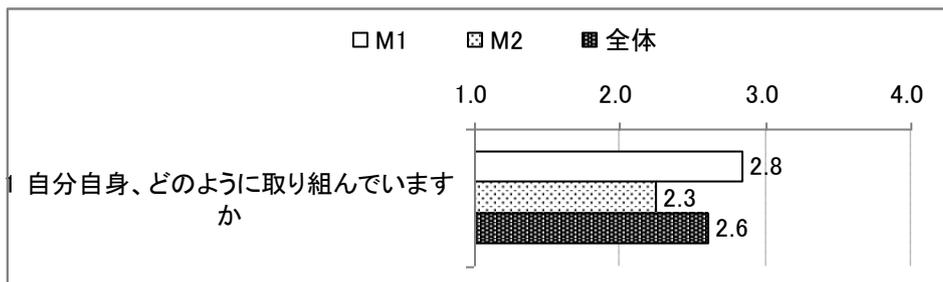


図2 大学院生活における不安や悩み・意欲

5. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に対する取り組みや理解

学位授与の方針について、「どの程度取り組んでいるか」「難易度」「特色や魅力の理解度」「成長イメージ可能度」「総合的な所属満足度」に関する集計結果を図4に示す



取り組みについては、M1の方が内容に対する認識が高いことが示された。また、ポリシーの達成難易度は「やや難しい」、目標を通じたの特色理解は「やや理解できる」、という評定に近い値となった。また、目標を通じたの卒後イメージ可能性はM1の方が高い値となり、学年差があることが予想される。総じて所属専攻での学びの満足度は5.0弱であり、満足度は高いものであったと考えられる。